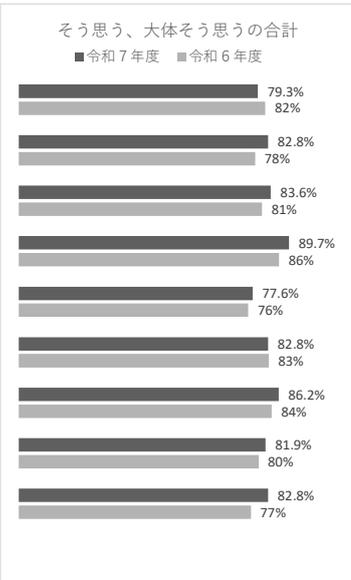


令和7年度 保護者アンケート結果

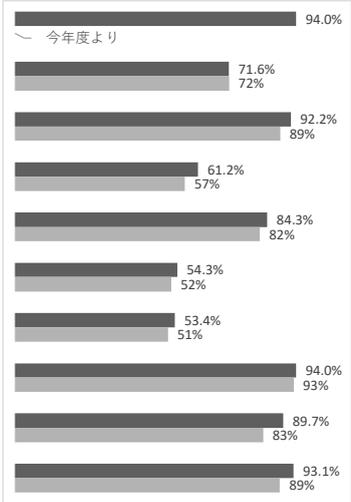
①そう思う ②大体そう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない

○布佐中学校に関すること	①	②	③	④	①+②
1 布佐中学校では、小中一貫教育の充実に努めている。	20.7%	58.6%	20.7%	0.0%	79.3%
2 学校は教育方針(目標)を理解されるよう努めており、保護者もそれに賛同し連携に努めている。	12.1%	70.7%	16.4%	0.9%	82.8%
3 学校は保護者会や通知票等で、子どもに身につけさせたい学力を示し、達成度をわかりやすく伝えている。	17.2%	66.4%	15.5%	0.9%	83.6%
4 学校は、学校・学年だより、ホームページ等で学校の様子・情報を積極的に知らせている。	31.9%	57.8%	8.6%	1.7%	89.7%
5 学校は、避難訓練の実施などを通して、布佐の町に住む子どもたちに防災意識を育む教育をしている。	25.9%	51.7%	20.7%	1.7%	77.6%
6 学校は、特別に支援を必要とする生徒等、個々の生徒のニーズに応じた教育的支援を行っている。	22.4%	60.3%	15.5%	1.7%	82.8%
7 学校は、生活マナーや社会のルールを大切にする教育に努めている。	17.2%	69.0%	13.8%	0.0%	86.2%
8 学校は、交通安全指導や防災教育など、子どもの安全確保に努めている。	20.7%	61.2%	18.1%	0.0%	81.9%
9 学校は、ICTなどを利用して工夫した授業を行っている。	14.7%	68.1%	14.7%	2.6%	82.8%
10 布佐中学校区で行っている「小中一貫教育」について効果的だと思うものを選んでください。	下記				



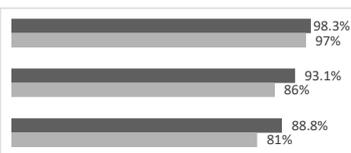
○自分のお子様に関すること

1 お子様は、学校に楽しく通っている。	45.7%	48.3%	5.2%	0.9%	94.0%
2 お子様は、登下校時など進んで挨拶をしている。	20.7%	50.9%	24.1%	4.3%	71.6%
3 お子様は、お互いのことを気づかい、思いやりがある。	31.0%	61.2%	7.8%	0.0%	92.2%
4 お子様は、自ら学び、積極的に授業に取り組んでいる。	16.4%	44.8%	34.5%	4.3%	61.2%
5 お子様は、学校へ行くことを楽しみにしている。	29.6%	54.8%	13.9%	1.7%	84.3%
6 お子様は、授業が分かりやすいと言っている。	6.9%	47.4%	39.7%	6.0%	54.3%
7 お子様は、宿題など家庭学習(塾を除く)にしっかりと取り組んでいる。	13.8%	39.7%	32.8%	13.8%	53.4%
8 お子様は、体育祭や合唱祭などの学校行事に積極的に取り組んでいる。	55.2%	38.8%	4.3%	1.7%	94.0%
9 お子様は、教職員と円滑な人間関係を築いている。	26.7%	62.9%	7.8%	2.6%	89.7%
10 お子様は、友人と円滑な人間関係を築いている。	35.3%	57.8%	6.9%	0.0%	93.1%



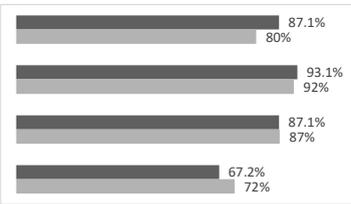
○教職員に関すること

1 教職員は、保護者からの問い合わせや来校時に丁寧な対応をしている。	56.0%	42.2%	1.7%	0.0%	98.3%
2 教職員は、家庭への連絡等を適切に行っている。	47.4%	45.7%	6.9%	0.0%	93.1%
3 教職員は、子どもの理解に努め、相談や指導を丁寧に行っている。	44.0%	44.8%	10.3%	0.9%	88.8%



○保護者の方に関すること

1 子どもの健全な育成のため、担任等と積極的に意思疎通を図っている。	25.9%	61.2%	11.2%	1.7%	87.1%
2 保護者として、学校の教育方針(目標)に関心があり、学校・学年だよりなどは目を通すようにしている。	38.8%	54.3%	5.2%	1.7%	93.1%
3 保護者として、子どもの家庭学習の必要性を理解し、提出物などもしっかりと取り組むように声をかけている。	30.2%	56.9%	9.5%	3.4%	87.1%
4 地域の一員として、布佐中生たちを見守り声をかけるように意識している。	12.1%	55.2%	25.0%	7.8%	67.2%



6年生登校	83
グラウンドデザイン作成	2
特別支援学級の小中交流会	16
教職員の小中合同研修会や打ち合わせ	35
挨拶運動	11
Abi小中一貫カリキュラムを使った授業	13

<考察>

保護者アンケートの結果から、教職員への信頼や生徒の学校生活の充実に関して評価をしてもらえていることがわかります。引き続き、ICTを活用し、学校の取り組みを積極的に情報発信していくことに努めていきます。

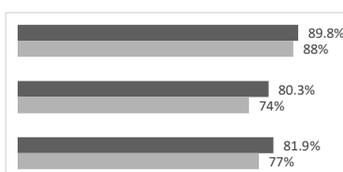
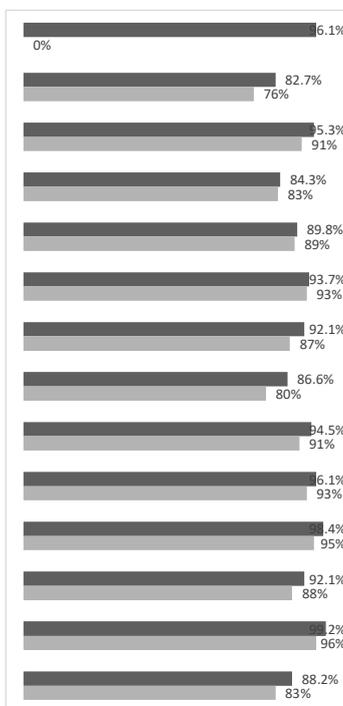
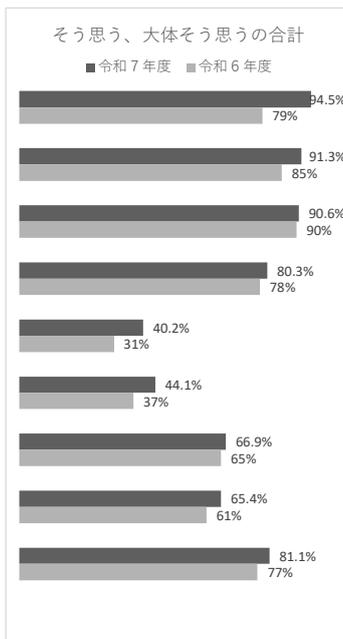
一方で、学習面の実感には課題が残ります。授業の理解度(54.3%)や家庭学習の定着(53.4%)が、生活面の肯定感に比べ著しく低く、教職員が課題としている「家庭学習との連動(35.7%)」が急務となっています。

そのためにも現在の「学校への安心感」を「確かな学力」や「自律的な学習習慣」へと昇華させていく必要があります。教職員が注力している「対話的・思考的な授業」の成果を振り返りや家庭学習への接続強化をし、生徒の「分かった」という実感にしていくことに努めていきます。学校での学びを家庭へ継続させる仕組みを整えることがでさらなる信頼と満足度の向上に繋がると考えます。

令和7年度 生徒アンケート結果

①そう思う ②大体そう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない

○学習に関すること		①	②	③	④	①+②
1	布佐中学校では小学校と中学校の交流の活動が充実している。	47.2%	47.2%	4.7%	0.8%	94.5%
2	楽しく授業を受けることができた。(できている)	52.0%	39.4%	7.9%	0.8%	91.3%
3	授業に対しては、真剣に取り組んでいる。	40.2%	50.4%	9.4%	0.0%	90.6%
4	授業の内容は、分かりやすい教科が多いと思う。	35.4%	44.9%	17.3%	2.4%	80.3%
5	毎日の授業の予習は家庭でやる時間を作って取り組んでいる。	8.7%	31.5%	37.8%	22.0%	40.2%
6	毎日の授業の復習は家庭でやる時間を作って取り組んでいる。	15.0%	29.1%	36.2%	19.7%	44.1%
7	宿題や課題など家庭学習はまじめに取り組んでいる。(塾は除く)	28.3%	38.6%	22.8%	10.2%	66.9%
8	授業で分からないところは先生に質問する。(質問したい)	26.0%	39.4%	29.1%	5.5%	65.4%
9	授業でタブレットを使った学習は理解しやすい。	41.7%	39.4%	15.0%	3.9%	81.1%
10	布佐中学校区で行っている小学校と中学校の交流活動について効果的だと思うものを選んでください。	下記				
○学校生活に関すること						
1	学校生活を楽しく過ごすことができている。	66.1%	29.9%	3.1%	0.8%	96.1%
2	自分から進んで明るいあいさつをしている。	44.9%	37.8%	15.0%	2.4%	82.7%
3	友だちにやさしく接することができた。	59.1%	36.2%	4.7%	0.0%	95.3%
4	遅刻や欠席も少なく、元気に登校できた。	59.1%	25.2%	13.4%	2.4%	84.3%
5	服装、頭髪など身なりをきちんと整えている。	56.7%	33.1%	8.7%	1.6%	89.8%
6	体育祭や合唱祭など学校行事に積極的に取り組んでいる。	70.1%	23.6%	5.5%	0.8%	93.7%
7	清掃には一生懸命取り組み、校内の美化に努めている。	47.2%	44.9%	5.5%	2.4%	92.1%
8	給食は残さず食べるようにして、食事と健康について考えている。	63.0%	23.6%	10.2%	3.1%	86.6%
9	人のいやがることを言ったり、他人へ暴力をふるうなど人のいやがることはしていない。	62.2%	32.3%	3.9%	1.6%	94.5%
10	いじめなどの「あってはいけないこと」は、進んでなくす努力をした。(なくしたいと思う)	63.8%	32.3%	3.9%	0.0%	96.1%
11	自転車の運転や歩行など、交通ルールや登下校のマナーを守ることができた。	63.8%	34.6%	0.8%	0.8%	98.4%
12	避難経路の確認や避難訓練に真剣に参加するなど、防災や安全に気をつけて生活している。	53.5%	38.6%	7.9%	0.0%	92.1%
13	校内での集団生活のマナーやルールを守っている。	60.6%	38.6%	0.8%	0.0%	99.2%
14	委員会の係りの活動に責任をもって取り組み、助け合い協力することができた。	58.3%	29.9%	9.4%	2.4%	88.2%
○自分自身と身のまわりの人とかかわりについて						
1	日々の検温、手洗い、うがい、消毒など自分の健康に気をつけて、規則正しい生活を送るよう努力している。	58.3%	31.5%	7.9%	2.4%	89.8%
2	自分の将来の進路(進学や仕事)について真剣に考えている。	43.3%	37.0%	11.0%	8.7%	80.3%
3	家庭への配付物などは、保護者に確実に渡し目を通してもらっている。	38.6%	43.3%	15.0%	3.1%	81.9%



布佐中学校区で行っている小学校と中学校の交流活動について効果的だと思うものを選んでください。

6年生登校	64
特別支援学級の小中交流会	23
挨拶運動	48
夏休み学習会	27
布佐中区3校合同レクリエーション大会	101

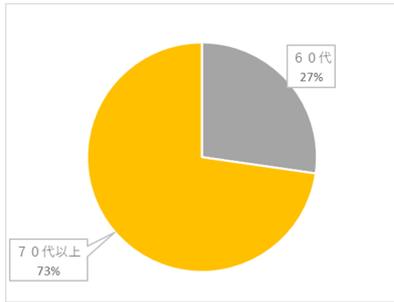
<考察>

学校生活の満足度が96.1%と非常に高く、友人関係(95.3%)や規範意識(99.2%)も極めて良好である点が成果として挙げられます。また、小中交流の充実度も94%と大幅に向上しており、学校が安心できる居場所として機能していることが伺えます。81.1%の生徒がタブレット学習を肯定しており、ICT活用も学びの支えとして定着しています。

課題は自律的な学習習慣の確立です。予習(40.2%)や復習(44.1%)の実施率は低迷しており、授業への真剣な態度(90.6%)が家庭での学びに結びついていない現状があります。今後は、高い所属感やICTへの肯定感を「自ら学ぶ意欲」へつなげていくことが求められます。生徒の一端未を持ち帰らせ、家庭学習を充実させたり、授業と家庭学習を連動させて自律的に学習に取り組む態度を育成していく必要があります。

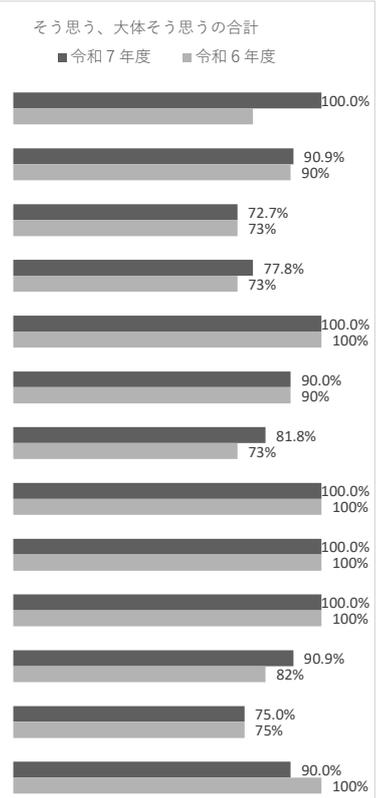
令和7年度 地域アンケート結果

○アンケートに回答していただいた地域の方の御年齢分布



①そう思う ②大体そう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない

○布佐中学校に関すること	①	②	③	④	①+②
1 布佐中学校では小中一貫教育の充実に努めている。	12.5%	87.5%	0.0%	0.0%	100.0%
2 布佐中は学校だよりやホームページ、教育ミニ集会などで教育方針(目標)や教育活動を理解されるよう努めている。	18.2%	72.7%	9.1%	0.0%	90.9%
3 布佐中学生は、登下校などに挨拶ができ、挨拶にあふれる学校になっている。	9.1%	63.6%	18.2%	9.1%	72.7%
4 布佐中学生は、地域の方を気づかい、思いやりの心をもった言動をとることができる。	11.1%	66.7%	22.2%	0.0%	77.8%
5 布佐中の教職員は、地域の方々からの問い合わせや来校時などに丁寧な対応をしている。	30.0%	70.0%	0.0%	0.0%	100.0%
6 布佐中の教職員は、地域や団体と関わろうとしている。	10.0%	80.0%	10.0%	0.0%	90.0%
7 布佐中学生は地域の行事などにも積極的に参加している。	18.2%	63.6%	18.2%	0.0%	81.8%
8 布佐中は、学校・学年だより、ホームページ等で学校の様子・情報を積極的に知らせている。	10.0%	90.0%	0.0%	0.0%	100.0%
9 布佐中は、「ふさカリキュラム」や「布佐タイム」などの特色ある教育活動を行い地域と連携している。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
10 布佐中は、避難訓練の実施などを通して、布佐の町に住む子どもたちに防災意識を育む教育をしている。	10.0%	90.0%	0.0%	0.0%	100.0%
11 あなたは、布佐中の教育方針(目標)や教育活動に関心があり、「学校だより」などにも目を通すようにしている。	18.2%	72.7%	0.0%	9.1%	90.9%
12 あなたは布佐中の行っている教育活動(地域による生徒支援)に関心がありその活動に参加をしたいと思います。	12.5%	62.5%	0.0%	25.0%	75.0%
13 あなたや地域の方々は、登下校時などに子どもたちに声をかけたり、様子を気にかけて見守っている。	0.0%	90.0%	10.0%	0.0%	90.0%



布佐中学校区で行っている「小中一貫教育」について効果的だと思うものを選んでください。

6年生登校	3
グラウンドデザイン作成	3
特別支援学級の小中交流会	3
教職員の小中合同研修会や打ち合わせ	7
挨拶運動	5
Abi小中一貫カリキュラムを使った授業	6
夏休み学習会	5
中区合同教育ミニ集会	4
校長、教頭、教務主任が参加して行う運営会議	7

<考察>

地域アンケートの結果から、改めて「地域と歩む学校づくり」の基盤が極めて強いということがわかります。特に、防災教育や「ふさカリキュラム」等の地域連携、積極的な情報発信については、地域の方から高い評価と信頼を得られていると考えます。生徒の地域行事への参加が向上している点は今後にもつなげていきたい成果です。
 今後の課題は、この良好な関係性を生徒の「社会的な振る舞い」の実感へと繋げていくことです。挨拶や思いやりの言動については、校内での高い意識が地域社会での実践に十分結びついていない側面があります。学校と地域が双方向で働きかけ合う環境を検討し、生徒の「地域に愛され、地域に貢献する」意識をより一層高めていくことが求められます。

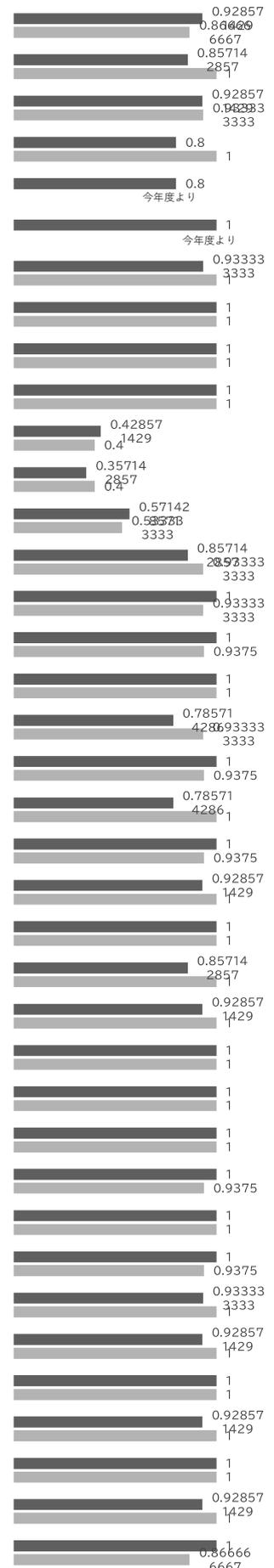
令和7年度 教職員アンケート

4:十分重点として認識し、達成に向けた努力をしている。3:重点目標として認識し、実践している
2:重点としての意識は低く、個別的な努力をした。1:ほとんど認識がなかった。

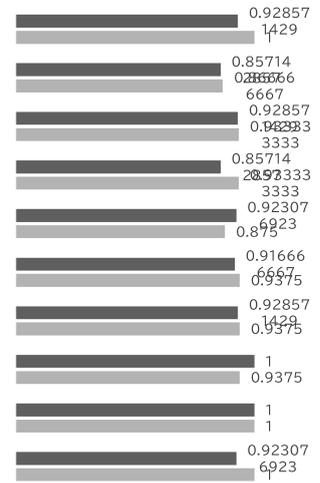
		4	3	2	1	4+3
1	重点1:主体的に学習に取り組む態度を養い、学習習慣の確立を図る。	35.7%	57.1%	7.1%	0.0%	92.9%
2	重点2:基礎的・基本的な知識及び技能の習得とそれらを活用して課題解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育む。	42.9%	42.9%	14.3%	0.0%	85.7%
3	重点3:自分の生き方を考え、主体的に判断し、行動できる力を育む。	28.6%	64.3%	7.1%	0.0%	92.9%
4	重点4:自立した人間として多様な人々と協働し、共によりよく生きるための豊かな心や思いやり、創造性の涵養を図る。	26.7%	53.3%	13.3%	6.7%	80.0%
5	重点5:地位とともに歩む学校づくりを目指し地域連携を図り、小中一貫を深める。	26.7%	53.3%	13.3%	6.7%	80.0%
6	重点6:働き方改革を意識し、職員間や関係機関と連携しながら、校務の効率化を図る。	53.3%	46.7%	0.0%	0.0%	100.0%
7	授業の初めに学習課題(問題)を提示し、終末にまとめや振り返りの時間をとっている。	46.7%	46.7%	6.7%	0.0%	93.3%
8	授業の中に生徒同士の対話的な活動を取り入れるなど、授業改善に努めている。	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	100.0%
9	1時間の授業の中で、「深める」活動(思考をする)を取り入れている。	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	100.0%
10	授業への図書の利用を年間計画の中に入れている。	28.6%	71.4%	0.0%	0.0%	100.0%
11	授業の中で学校図書を活用するための工夫を行っている。	14.3%	28.6%	14.3%	42.9%	42.9%
12	家庭学習の習慣化・充実を図り、授業と連動させる工夫を行っている。	0.0%	35.7%	21.4%	42.9%	35.7%
13	カリキュラム・マネジメント、PDCAサイクルを活かした計画的な指導・支援を行っている。	21.4%	35.7%	42.9%	0.0%	57.1%
14	授業でタブレットなどのICT機器を活用するための工夫を行っている。	21.4%	64.3%	14.3%	0.0%	85.7%
15	学校では小中一貫教育の充実を努めている。	78.6%	21.4%	0.0%	0.0%	100.0%
16	特別活動(学校行事、生徒会、学級会、学級活動)での話し合い活動を進めている。	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	100.0%
17	課題発見、解決型の総合的な学習を進めている。	78.6%	21.4%	0.0%	0.0%	100.0%
18	一人一人のよさを認め、人間関係形成のできる生徒指導を進めている。	42.9%	35.7%	21.4%	0.0%	78.6%
19	生徒の自主的な活動を基盤とした地域貢献活動を推進している。	64.3%	35.7%	0.0%	0.0%	100.0%
20	一人一人が所属感・存在感をもてるような学級経営の工夫により、生徒が充実した生活を送っている。	42.9%	35.7%	21.4%	0.0%	78.6%
21	学級活動等の活性化により、生徒の主体性の育成を目指している。	35.7%	64.3%	0.0%	0.0%	100.0%
22	教育活動全体を通して、生徒の豊かな心を育む努力をしている。	42.9%	50.0%	7.1%	0.0%	92.9%
23	道徳で培った道徳的判断力や行動力を、生徒の生活や他の教科の中で生かそうとしている。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
24	特別の教科 道徳の授業を考え議論する内容になるよう努力している。	28.6%	57.1%	14.3%	0.0%	85.7%
25	問題行動等が発生した場合、職員相互がチームにより対応し、管理職や関係職員への報告・相談等を行いながら、早期解決に努めている。	21.4%	71.4%	7.1%	0.0%	92.9%
26	生徒に自律的な規範意識を育てるよう、学年、学級、分掌等での活動推進に努めている。	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%
27	特に課題を抱えた生徒に関する情報は、学校職員の共有すべき情報として伝える、相談するなどの「つなぎ機能」が生かされている。	64.3%	35.7%	0.0%	0.0%	100.0%
28	長欠・教育相談に関する指導は、必要に応じ、他校種、外部機関と連携するなどチームワークで対応しようとしている。	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%
29	生徒が自ら考え、自主的・自律的に行動でき、みずからの言動に責任を負うことのできる生徒を育成するための指導を行っている。	64.3%	35.7%	0.0%	0.0%	100.0%
30	社会の一員としての意識(公平・公正・勤労・モラル等)を身につけた生徒を育成するための指導を行っている。	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	100.0%
31	保護者と連携して、粘り強く生活習慣を身につけた生徒を育成するための指導を行っている。	46.7%	53.3%	0.0%	0.0%	100.0%
32	いじめ根絶に向けて、全職員でいじめ防止基本方針を確認し、全職員で連携して取り組んでいる。	40.0%	53.3%	6.7%	0.0%	93.3%
33	生徒に体力・健康の自己管理ができるよう、治療のすすめ、生活習慣などの指導を行った。	64.3%	28.6%	7.1%	0.0%	92.9%
34	災害、危険防止の観点から避難経路の確認や避難訓練等の指導を子どもたちに適切に行った。	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	100.0%
35	日々の生徒の健康について、特にコロナ対応(マスク、手洗い、消毒、検温等)の指導を子どもたちに対して適切に行った。	71.4%	21.4%	7.1%	0.0%	92.9%
36	特別な支援を必要とする生徒に対して、学級経営や授業の中で配慮を行っている。	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%
37	ユニバーサルデザインの考え方に基いた授業実践や学級経営に努めている。	64.3%	28.6%	7.1%	0.0%	92.9%
38	特別な支援を必要とする生徒について個別指導計画や個別の教育支援計画を適切に作成し、活用している。	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%	100.0%

そう思う、大体そう思うの合計

■令和7年度 ■令和6年度



39	特別な支援を必要とする生徒について医療、福祉(児相など)関係機関との連携を図ろうとしている。	42.9%	50.0%	0.0%	7.1%	92.9%
40	通常級における合理的配慮の在り方について全職員で考え、具体的な取り組みを行っている。	50.0%	35.7%	7.1%	7.1%	85.7%
41	特別支援教育部会を定期的に実施し、情報の共有や共通理解を図り、校内の特別支援教育の推進の中心となるように活動している。	35.7%	57.1%	7.1%	0.0%	92.9%
42	学年・教科を越え、教員としての力量形成のための研修を進めている。	50.0%	35.7%	14.3%	0.0%	85.7%
43	郷土の偉人や業績、地域の歴史を学ぶカリキュラムに基づき授業を実施し、小中(高)をつなぐ教育を進めようとしている。	53.8%	38.5%	7.7%	0.0%	92.3%
44	学校教育目標の具現化に向けて、保護者・地域と連携を図り、教育活動の理解や参画を得るよう努めている。	41.7%	50.0%	8.3%	0.0%	91.7%
45	組織の円滑な運営のために、学年を越えて声を掛け合うなど、「つなぐ」意識疎通を図っている。	50.0%	42.9%	7.1%	0.0%	92.9%
46	学年や学級の課題を明らかにし、改善するための工夫を行っている。	69.2%	30.8%	0.0%	0.0%	100.0%
47	市予算の財務は、学校教育目標具現化に向けて適正執行されている。	61.5%	38.5%	0.0%	0.0%	100.0%
48	HP・学校だより・学年だより・学級だより・保健だよりや給食だより、相談室だよりなど学校広報が進んでいる。	53.8%	38.5%	7.7%	0.0%	92.3%



布佐中学校区で行っている小学校と中学校の交流活動について効果的だと思うものを選んでください。

6年生の布佐中登校	13
あいさつ運動	9
教職員の小中合同研修会や打ち合わせ	5
Abi小中一貫カリキュラムを使った授業	1
特別支援学級の小中交流会	4
夏休み学習会	3
布佐中区3校合同レクリエーション大会	5
布佐中区合同教育ミニ集会	1
校長、教頭、教務主任が参加して行う運営会議	3

(考察)

本校の職員は「組織としてのチームワーク」や「授業の形式的な改善(対話・思考)」において非常に高い意識をもって職務に取り組んでいると考えられます。働き方改革によって校務が効率化を実感していると同時に、生徒の情報共有や安全管理が徹底されていると認識している職員も多くいます。

しかし、授業改善がされている反面、生徒一人一人の「家庭での学習習慣」がまだ定着できていないと感じています。生徒一台端末の持ち帰りなどを活性化し、授業と家庭学習の連動性をより活発的なものにしていく必要があると考えられます。

授業内の対話や思考の深化をせまる授業展開を引き続き行っていくことと同時に、生徒の家庭での予習・復習を誘発するような課題設計が求められます。また、教職員が自身の授業を振り返る際、客観的な視野を持ち、生徒目線で授業の楽しさやわかりやすさを追及していく必要があります。

チーム布佐中として「組織的な連携」を大切にし、生徒の力を育むことが急務です。